

25滋賀県201大津市社会資本総合整備計画

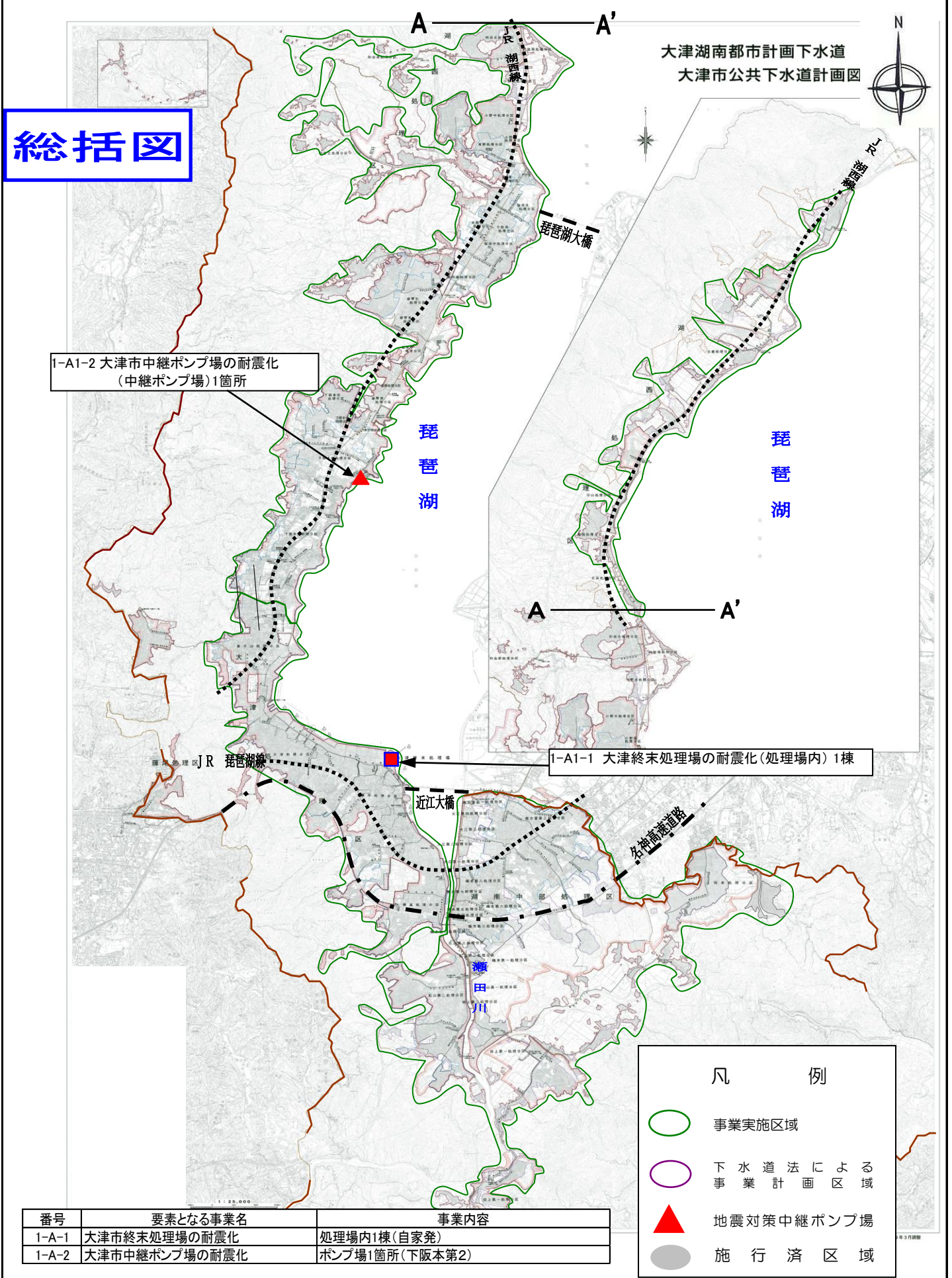
平成23年11月21日

計画の名称	1 大津市における下水道施設の地震対策（復興基本方針関連（全国防災））																											
計画の期間	平成23年度 ～ 平成23年度（1年間）				交付対象	滋賀県 大津市																						
計画の目標	東日本大震災を教訓として、地震に対する安全度を早急に高め、大津市において市民の安心した生活の営みが継続されることを目的に、下水道事業における防災・減災対策として、重要施設の耐震化により地震に強い下水道施設の構築を推進する。																											
計画の成果目標（定量的指標）	①終末処理場において、緊急に実施すべき施設の耐震補強工事実施率を0%から100%とする。 ②中継ポンプ場のうち、緊急に実施すべき耐震補強工事実施率を0%から100%とする。																											
定量的指標の定義及び算定式	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">定量的指標の現況値及び目標値</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>当初現況値 (H23当初)</th> <th>中間目標値</th> <th>最終目標値 (H23末)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①終末処理場における、緊急に実施すべき施設の耐震補強工事実施率（自家発電機棟）（%） 工事実施済施設数（施設）／緊急で工事を実施すべき施設数（施設）</td> <td>0.0%</td> <td>—</td> <td>100.0%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>②中継ポンプ場のうち、緊急に実施すべき施設の耐震補強工事実施率（下阪本第2中継ポンプ場）（%） 工事実施済施設数（施設）／緊急で工事を実施すべき施設数（施設）</td> <td>0.0%</td> <td>—</td> <td>100.0%</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>											定量的指標の現況値及び目標値			備考	当初現況値 (H23当初)	中間目標値	最終目標値 (H23末)	①終末処理場における、緊急に実施すべき施設の耐震補強工事実施率（自家発電機棟）（%） 工事実施済施設数（施設）／緊急で工事を実施すべき施設数（施設）	0.0%	—	100.0%		②中継ポンプ場のうち、緊急に実施すべき施設の耐震補強工事実施率（下阪本第2中継ポンプ場）（%） 工事実施済施設数（施設）／緊急で工事を実施すべき施設数（施設）	0.0%	—	100.0%	
	定量的指標の現況値及び目標値			備考																								
	当初現況値 (H23当初)	中間目標値	最終目標値 (H23末)																									
①終末処理場における、緊急に実施すべき施設の耐震補強工事実施率（自家発電機棟）（%） 工事実施済施設数（施設）／緊急で工事を実施すべき施設数（施設）	0.0%	—	100.0%																									
②中継ポンプ場のうち、緊急に実施すべき施設の耐震補強工事実施率（下阪本第2中継ポンプ場）（%） 工事実施済施設数（施設）／緊急で工事を実施すべき施設数（施設）	0.0%	—	100.0%																									
全体事業費	合計 (A+B+C)	37.0百万円	A	37.0百万円	B	0.0百万円	C	0.0百万円	効果促進事業費の割合 C／(A+B+C)	0.0%																		
交付対象事業																												
A1 下水道事業																												
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	事業及び 施設種別	省略 工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考											
											H23	H24	H25	H26	H27													
1-A1-1	下水道	一般	大津市	直接	—	汚水	新設	大津市終末処理場の耐震化	処理場内1棟（自家発電機棟）	大津市						14.1												
1-A1-2	下水道	一般	大津市	直接	—	汚水	新設	大津市中継ポンプ場の耐震化	ポンプ場1箇所（下阪本第2）	大津市						22.9												
小計（下水道事業）											37.0																	
合計											37.0																	
B 関連社会資本整備事業																												
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考												
										H23	H24	H25	H26	H27														
																0.0												
合計											0.0																	
番号	一体的に実施することにより期待される効果																											
C 効果促進事業																												
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考												
										H23	H24	H25	H26	H27														
																0.0												
合計											0.0																	
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考																

25滋賀県201大津市社会資本総合整備計画

【 汚水 】

計画の名称	1 大津市における下水道施設の地震対策（復興基本方針関連（全国防災））		交付対象	滋賀県 大津市
計画の期間	平成23年度	～ 平成23年度（1年間）		



社会資本総合整備計画チェックシート

(滋賀県大津市下水道事業(汚水))

計画の名称:大津市における下水道施設の地震対策(復興基本方針関連(全国防災))

事業主体名:大津市

チェック欄

I. 目標の妥当性	
①基本方針・上位計画等との適合等	
1)基本方針(汚水処理施設整備構想、流総計画等)と適合している。	○
2)上位計画(事業認可等)と整合性が確保されている。	○
②地域の課題への対応	
1)地元情勢の変化を踏まえている。	○
2)社会経済情勢を捉え、適正な計画となっている。	○
II. 計画の効果・効率性	
③目標と事業内容の整合性等	
1)目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
2)指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
3)目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	○
4)指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
④事業の効果	
1)費用対効果について十分に効果がある。	○
2)事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性	
⑤円滑な事業執行の環境	
1)供用開始区域の接続率の向上が見込まれる。	○
2)計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
3)地元住民の同意や要望がある。	○
4)事業実施のための環境整備が図られている。	○